

令和2年5月2日

関係各位

学校法人希望学園
北嶺中・高等学校
校長 谷地田 穰

コロナ関連に関する本校の対応および取り組みについてのご報告

北嶺中・高等学校のコロナ対応および休校期間中の取り組みに関しての状況をご報告させていただきます。

3月より休校が始まり、4月当初は中学生は5月11日からの始業、高校生は4月8日からの始業としておりましたので、4月7日に高校生の寮生が帰寮して参りました。しかし、7日夜に国からの緊急事態宣言が発令され、8日から再び高校生も休校とせざるを得なくなりました。

高校生の寮生には帰寮後2週間の間は健康観察のため寮内の個室での生活をしてもらいましたが、全員問題なく2週間が経過いたしました。その後寮生には実際の授業を行いながらその動画を配信したり、教科書・問題集・課題等を全生徒に郵送あるいは本校の連絡システムによる配信を行いました。また、生徒の健康状態や生活の様子を把握するために保護者の方と定期的に連絡システムによるアンケートを実施し、あわせて電話による確認等も繰り返して参りました。この間大きな混乱もなく、動画での授業配信、Webでのライブ授業等を順次充実させ、最近ではZoomやGoogleのClassroomを使ったライブの授業やホームルームを実施し、子供たちの元気な様子を把握することができるようになって参りました。

高校生の100名を超す寮生は落ち着いた行動をとり、しっかりと学習に取り組んでくれています。通学生や中学生の寮生は現在自宅でWebでの授業や指示された課題に取り組みながら、学校再開を待ち望んでいるところです。

本校関係者はおかげさまでコロナに感染することなく、3~4月の休校期間を乗り越えることができました。さらに5月末日まで休校が延長される可能性が高くなっておりますが、当面できるだけ通常授業に近い形となるようにWeb授業の充実を図って参ります。高校生に対しても習熟度別のWeb授業は教科によっては既に実施しておりますが、今後は他の教科でも本来の習熟度別授業を実施していき、特に高校3年生には添削指導等、きめ細やかな対応を行って参ります。

外部の方に現状をお知らせすることが大変遅くなりましたことを深くお詫び申し上げます。

皆様方と共にこの国難ともいえるコロナ感染との戦いを乗り越えていきたいと考えております。どうか皆様方も感染には十分留意され、厳しい状況ではありますけれども、どうかお元気でお過ごしください。